

平成27年度事業報告書 (案)

社会福祉法人 ふるさと

社会福祉法人ふるさと 平成27年度事業報告

1. 総 括

平成27年4月に行われた介護報酬改定では、全体で△2.27%のマイナス改定となり、介護職員の処遇改善分の+1.65%を勘案した施設サービスは実質5.6%の引き下げとなった。当法人においても同程度の影響を受けることになったが、その対策として経費の見直しとともに、新たにサービスの質を評価するため新設された加算を可能な限り取得することを目指した。その結果、事業所ごとのバラツキはあるものの、減収分の6割ほどを補填することができた。また、28年1月より短期入所分10床を入所に転換したことにより、短期入所利用の稼働率は、約70%台前半から80%台に向上し、収益構造の強化につなげることができた。

また、重要な経営課題の一つである介護人材確保については、本改正で創設された（新）処遇改善加算によって、1人当たり月12,000円の賃金改善を行うことができ、介護職員の処遇向上を後押しする形となった。厳しい人員体制の中ではあったが、管理職を中心に事業所ごとに創意工夫を行い、自立支援・認知症ケア・重度化対応・看取り対応などのサービスの維持・充実に努めた。

また、社会福祉法人改革にかかる社会福祉法の改正法案が3月末の国会で成立し、28年4月より随時施行されることになる。法人としては、法改正に対応するため、関係団体等との連携による取り組みの検討や、研修会等での情報収集を行い、準備を進めている。特に県経営協が主体として取り組む「生計困難者レスキュー事業」に参加するため、第二種社会福祉事業である「生計困難者に対する相談支援事業」について事業開始のための諸手続きを行った。

また、前年度導入を図った人事考課制度をより充実させ、やりがいと魅力ある職場づくりを目指すとともに、組織力を強化するための管理職リーダー研修や、個人の資質向上を支援する研修受講助成などの事業（介護の質と職員幸福度向上プロジェクト事業）にも引き続き取り組んだ。組織力の向上のための取り組みは緒に就いたばかりであり、まだ目に見える成果が現れているわけではないが、外部講師を招いての質の高い継続的な研修は、当該管理職らの自覚を芽生えさせ、今後のチーム作りに好影響を与えてくれるものと期待したい。

以下、事業所ごとに運営状況を総括する。

法人の母体施設である特別養護老人ホームは、27年度改正により入所条件が原則要介護3以上となったが、1月の入所床数の増が影響し、年度末の平均介護度

は、やや3.9と軽度化した。また、入院数は2.7人／日と前年度より増加しており、医療度の上昇傾向が伺われる。

短期入所利用状況については、1月の減床以降83.3%と高位に推移している。これは、入所を10床増やしたことで短期利用ニーズが喚起され、稼働率を高めていると見られる。

居宅介護支援事業では、圏内の医療福祉関係機関との情報交換を密にしながら、地域の利用ニーズを網羅して、短期利用や各事業所の円滑な利用に寄与した。

グループホーム、第2グループホームでは、医療度や重度化が進展し、例年以上に入退所の事案が多く、次の入所段取りに手間取ったケースもあったが、前年度と比較して両事業所とも大きな差異はなかった。

シニアライフサポートセンター（以下サポートセンター）では、施設見学会等の機会を増やし、介護関係者や地域への認知度も少しずつ上がっており、問い合わせやそれが入居に結びつくケースも確実に増加している。しかしながら、年度前半から登録・登録終了とも出入りが激しい年（登録7名、終了10名）となり、結果稼働率が上がらず、厳しい状況となった。

また、サポートセンター併設の「ふるさとキッズ」は、前年に引き続き職員の子女（2～3名）を託児したが、新年度からの託児希望がなく今年度末で休園となる。

27年度を振り返ると大きな変化に対応する年となった。そのための基本原則は「サービスの質」であることを改めて認識することができた。それは、地域社会の福祉ニーズを的確に捉え、そのニーズに対して質の高いサービスを提供することが、新制度や新加算などによって評価され、それが報酬として循環するということである。今後もこのことを事業運営の根幹として法人経営にあたりたい。

2. 介護の質と職員幸福度向上プロジェクトの実施（2年目）

職員の定着率向上のための長崎県補助事業を受託し、最終年度として以下の事業を実施した。

- ① 介護福祉士取得支援（実務者研修受講助成）…2名取得
- ② 介護支援専門員取得支援（受験対策講座受講助成）…1名取得
- ③ 笑いヨガインストラクター養成講座…リーダー7名修了
- ④ 組織力向上のための管理職リーダー研修…対象19名
- ⑤ プロジェクト終了後職員意識調査

3. 規程の制定及び改正

- ① 福利厚生充実を目的とした「リフレッシュ休暇規程」
- ② ボランティア活動の推奨を目的とした「ボランティア休暇」
- ③ マイナンバー制度に伴う「特定個人情報取扱規程」
- ④ 就業規則の改正（マイナンバー関連、手当関連）

4. 職員異動

(1) 採用・・・16名

- ・特養：9名（介護職5名・介護職非常勤1名・調理員3名）
- ・GH：介護職1名
- ・第2GH：介護職3名
- ・サポートセンター：3名（介護職1名・介護支援専門員1名・非常勤介護職1名）

(2) 異動・・・6名

- ・特養→GH（介護職1名）
→サポートセンター（介護職1名・看護職1名）
職種変更（介護職→相談員1名）
- ・GH→2GH（介護職2名）

(3) 退職・・・13名

- ・特養：7名（介護職2名・非常勤介護職1名・調理員3名・非常勤相談員1名）
- ・GH：介護職2名
- ・第2GH：介護職1名
- ・サポートセンター：介護支援専門員1名
- ・ふるさとキッズ：保育士2名

(参考)

平成28年度採用（平成28年5月1日現在）

- ・特養：4名（事務職1名・介護職3名：専門学校卒1名・高卒2名）

以上

平成27年度事業報告

特別養護老人ホームふるさと・短期入所生活介護

1. 事業概況

平成27年度の入所者状況は、28年1月から短期入所の春フロアさつきユニット（10人）が特養入所に移行し定員70人に増床。在籍率は99.6%とほぼ満床であった。年平均介護度は4.0だったが、1月からは3.9と介護保険法施行後初めての要介護度4を下回った。入院は一日2.7人で増加傾向にあり、年平均入所者数は59.5人。また、入所者の過半数が嘱託医以外の他科受診が必要であり、その内、精神科受診は26.0%と更なる医療管理と認知症対応についての医療機関との連携が不可欠となり、殊に認知症ケアのスキルアップが課題となった。

退所者は20人で看取りケアを12人実施。同月に退所者が4人の時もあり、加算取得（要介護度4以上 認知症自立度Ⅲ以上）の要件充足の関係から次の入所者を確保することが困難となってきた。

短期入所利用状況については、27年12月まで定員20人で一日平均16.2人。稼働率は80.9%。28年1月からは定員10人で特養の空所利用を14人利用し、年間の稼働率は83.3%と昨年度より7.2%増となった。

感染対策として、2月から年4月まで面会制限を実施し感染症予防ができた。

2月に長崎県の指導監査を受け、特養・短期入所運営について良好であると評価された。

職員研修はこれまでの新任、業務別研修、事業所連絡会議等に加え、昨年度から「介護の質と職員幸福度向上プロジェクト事業」の一環として、介護福祉士等の資格取得支援（実務者研修・ケアマネ受験対策支援）を実施し、介護福祉士資格を取得した。さらに外部講師を招致し、組織運営の要となる管理者・リーダー研修及び質の向上を目指し全施設で業務改善活動の取り組みを展開した。

2. 特別養護老人ホームふるさと利用状況

(1) 延入所者数状況 (満床数 22,870 人) 28 年 1 月より入所定員 70 人

延入所者数は 22,772 人で 稼働率は 99.6%

(内、延入院者数は 998 人で一日 2.7 人、延実利用者数は 21,784 人で平均入所者数 59.5 人)

年月日	延入所者数 (在籍者)	延入院者数	延実利用者数 (在籍者－入院者)
平成 27 年 4 月	1,798	90	1,708
平成 27 年 5 月	1,851	32	1,819
平成 27 年 6 月	1,781	98	1,683
平成 27 年 7 月	1,844	71	1,773
平成 27 年 8 月	1,844	31	1,813
平成 27 年 9 月	1,800	89	1,711
平成 27 年 10 月	1,860	82	1,778
平成 27 年 11 月	1,800	108	1,692
平成 27 年 12 月	1,856	68	1,788
平成 28 年 1 月	2,170	146	2,024
平成 28 年 2 月	2,022	102	1,920
平成 28 年 3 月	2,146	71	2,075
合 計	22,772	988	21,784
27 年度	稼働率 99.6%	一日平均 2.7 人	平均入所者数 59.5 人
26 年度	99.2%	2.1 人	57.4 人
対前年比	104.8% ↑	127.3% ↑	103.7% ↑

(小数点第 2 位四捨五入)

(2) 月別入退所者数の状況

年間入所者数 30 人、内 1 月増床で 10 人入所。退所者数 20 人の内、死亡退所が 14 人、（施設での死亡 13 人で看取りケア実施が 12 人、医療機関での死亡 1 人）長期入院のための退所が 5 人、他県施設への転所が 1 人

年月日	一日現在 入所者数	月 内 の 異 動		平均介護度
		入 所	退 所	
成 27 年 4 月	60	1	2	4.0
平成 27 年 5 月	60	2	1	4.0
平成 27 年 6 月	60	3	4	4.0
平成 27 年 7 月	60	3	3	4.0
平成 27 年 8 月	59	3	2	4.0
平成 27 年 9 月	60	0	0	4.0
平成 27 年 10 月	60	0	0	4.0
平成 27 年 11 月	60	0	0	4.0
平成 27 年 12 月	60	2	2	4.0
平成 28 年 1 月	70	10	0	3.9
平成 28 年 2 月	70	2	2	3.9
平成 28 年 3 月	70	4	4	3.9
合 計		30	20	平均 4.0

(3) 入所申し込みについて

27 年度末での入所待機者数 23 人

内、介護保険施設等に入所 19 人 医療機関入院 4 人

3. 短期入所生活介護利用状況

延利用者数

介護度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	稼働率 %
27 年 4 月	0	0	116	30	243	93	30	512	85.3
27 年 5 月	0	0	131	36	247	49	26	489	78.9
27 年 6 月	0	0	88	28	292	27	30	465	77.5
27 年 7 月	0	0	92	53	308	8	0	461	74.4
27 年 8 月	0	0	100	71	241	22	0	434	70.0
27 年 9 月	0	0	90	64	266	46	19	485	8
27 年 10 月	0	0	67	100	218	99	45	529	85.3
27 年 11 月	4	8	46	77	221	115	60	531	88.5
27 年 12 月	0	0	47	110	227	125	33	542	87.4
28 年 1 月	2	9	41	72	106	12	0	242	78.1
28 年 2 月	0	0	49	93	74	43	0	259	89.3
28 年 3 月	0	3	41	59	89	37	30	256	82.6
合 計	6	17	908	793	2,532	676	273	5,205	81.2
27 年度	延利用者数		5,205	一日平均利用者数		14.2 人	稼働率		81.2%
26 年度	延利用者数		5,400	一日平均利用者数		14.8 人	稼働率		74.0%
対 前 年 比								7.2% ↑	

(小数点第2位四捨五入)

※27 度延利用者数状況 (満床数 6,410 人)

年間延べ利用者数は 5,205 人で、一日平均 14.2 人で年稼働率は 81.2% となり、入所の空所利用は 14 日 (14 人) と稼働率が昨年度より 7.2% 増となった。

4. 会議・委員会開催状況

(1) 主任会議等	23 回
(2) フロア・ユニット会議	70 回
(3) 入所検討委員会	14 回
(4) 事故防止・事故事例検討会	38 回
(5) 衛生委員会	12 回

(6) 法人苦情解決委員会	2回	
(7) 感染対策委員会	11回	
(8) 身体拘束廃止委員会	6回	
(9) 広報委員会	5回	
ふるさと便り157号～160号（三事業所合同）		4回発行
(10) ケアカンファレンス	50回	
モニタリング	91回	
(11) 栄養ケアカンファレンス	12回	
(12) 褥瘡防止委員会	7回	
(13) 給食委員会	16回	
(14) 医療委員会	9回	
(15) 美化衛生委員会	2回	
(16) レクリエーション委員会	2回	
(17) 防災委員会	3回	
(18) 法人ケアマネ連絡会議	12回	
(19) 法人事業所連絡会議	12回	

5. 研修会参加状況

(1) 施設外研修

※西海市 県社協、県老施協 施設研修等の各研修会に73回参加した。
(延143人)

(2) 職場内研修

職場内におけるスキルアップ研修・復命会実施

介護技術、褥瘡防止、身体拘束廃止、虐待防止、事故防止、感染症対策、ケアの向上、クレーム対応 認知症、医療、衛生教育等について、毎月1回の月例研修、及び随時の業務研修計34回実施した。

※毎月の法人事業所連絡会議とケアマネ連絡会議等で役職者へ事業所の円滑な運営のための各研修を実施。

※前年度より全法人での「介護の質と幸福度向上プロジェクト事業」の継続研修として、管理者・リーダー研修を重ね、業務改善活動の実施取り組みについて、施設内外で発表を行う。

※新任職員研修会を37回実施する（入職3年未満対象）

今年度は 8 人を雇用し、全法人で基本姿勢、共通業務、介護技術等「新任職員研修マニュアル」に添って研修し、プリセプター制度により個別指導育成を行う。

資格取得 喀痰吸引認定特定行為業務従事者 2 人
介護福祉士 2 人

6. 福利厚生

今年度からリフレッシュ休暇（記念日休暇）が導入され全職員取得し、年休等と併せて有給休暇取得率は 29.4%となった。

産休 2 人・育児休暇 2 人

雇入れ時、5 月全職員、10 月夜勤職員のための職員健康診断を実施。総じて生活習慣病の傾向が強く、産業医の所見を基に衛生管理者による全職員に細やかな個別面談と衛生教育を実施した。治療が必要な職員の継続指導を実施している。

7. 感染症予防対策

昨年に引き続き長崎西彼保健所より、最新の感染発症動向調査を情報収集し、嘱託医指導管理の下、感染対策委員会開催や研修会等での周知、予防対策、労務管理に努めた。

10 月 8 日に全利用者の結核健康診断実施。11 月に全利用者、職員インフルエンザ予防接種、1 月に希望利用者のみ肺炎球菌予防ワクチンを実施。嘱託医の指示により 2 月 6 日よりインフルエンザ感染予防対策として面会者の制限を行い、さらに罹患した職員への予防薬を処方するなど早めの感染対応策を徹底したことで感染を予防できた。

電解水変換装置を設置し、室内消毒に清掃に使用。美化衛生委員による、施設内の清掃チェックを 22 回、季節毎に清掃を実施した。

8. 行事

(1) 6 月 17 日 輪投げ大会

(四事業所利用者、家族会、職員参加)

(2) 7 月 25 日 ふるさと夏祭りを開催する 602 人参加

(3) 9 月 15 日 ふるさと敬老会を開催する。

利用者ご家族への満足度アンケート実施

(4) 防災

避難・通報訓練を毎月実施する。各フロア及び合同での避難訓練（夜間時想定訓練も含む）21回 消火訓練3回 通報訓練13回 防災教育7回 施設全体での夜間出動訓練2回 総合訓練2回実施した。

全法人連携で自然災害総合計画書策定に向けて具体的検討を行った。

11月19日（秋季）3月14日（春季）……………総合訓練

1月28日 法人ふるさと地域連携防災協力会議開催

佐世保東消防署西彼出張所、行政、消防団、地域
法人役員、職員51人参加

3月30日 佐世保東消防署西彼出張所立会い指導のもと、全施設での避難訓練を実施した。他事業所管理者も参加した。

(5) 誕生会

利用者家族会役員、地域関係者招待し毎月実施（12回）

(7) 法話

町内5ヶ寺、佐世保市1ヶ寺に依頼し、毎月実施（年間12回）

(8) レクレーション

毎月10日に季節のメニューに応じた食事会（お楽しみ献立）や、各フロアでのおやつ作り、リハビリを兼ねての野菜作り、園芸、各フロアでの誕生会やドライブ等を実施

今年度より、「笑いヨガ」インストラクターによる「笑いヨガ」レク活動及び、毎月一回特養で全法人利用者参加での「笑いヨガ」レク活動を実施した。

(9) 利用者家族会

役員会 6月17日・8月26日・3月15日・3月23日

総会 4月18日・9月21日（敬老会）

(10) 2月12日 長崎県指導監査を受ける。

9. 実習生等受け入れ等

4月～長崎県喀痰吸引研修 実地研修 特養介護職 7人実施

6月30日 西海中学校3年生 職場体験学習 2人

10月16日 西海南小学校4年・5年生総合学習 10人

11月24日～26日 九州文化学園高等学校3年生インターシップ 1人

10. ボランティア・慰問・訪問等受け入れ

(1) 個人ボランティア 23人

(2) 企業ボランティア 三菱労働組合長船支部 19人

(3) 慰問・訪問 ハーモニー西海 24人

アンサンブル・ダンツィ 大阪5人 佳蓉福祉支援の会

11. 施設見学及び入所相談 延べ 102人

(1) 入所相談 30人

(2) 施設見学 西海市内民生児童委員会等他 72人

12. 面会者数

年間	3,942人
一日平均	10.8人

平成27年度事業報告「居宅支援事業所ふるさと」

1. 事業概況

平成27年4月からの介護保険法改正にて、国が示した在宅介護の充実と医療保険での入院治療期間の短縮にて、病院SW・各事業所ケアマネとの連絡調整を実施し、介護が必要な利用者の行く先が無く居宅契約を行いショート・のロング利用で入所を希望者の受入れ実施。又、特養入所の規定が原則要介護3以上となり、要介護1・2の認知症の利用者の受入れ等、法人施設利用の調整等も実施する。

今年度、社会福祉法人「ふるさと」の地域貢献事業として、地域の皆様が現在の福祉事業や介護保険制度等への疑問や、高齢化社会に伴う「認知症患者の増加」での対応について、「介護教室」を開催して、地域で支え合う必要性等の説明会を実施した。今後、社会福祉法人としての役割として地域に開かれた法人として、地域の皆様が住み慣れた地域で「安心・いきいき」として生活が行えるような支援を今後も継続実施する。

2. 利用状況

月 別	介護予防利用者	介護支援利用者	計
H27・4月	9人	24人	33人
5月	9人	24人	33人
6月	9人	25人	34人
7月	9人	23人	32人
8月	9人	24人	33人
9月	9人	28人	37人
10月	8人	30人	38人
11月	8人	30人	38人
12月	9人	26人	35人
H28・1月	9人	15人	24人
2月	7人	17人	24人
3月	6人	19人	25人
合 計	101人	285人	386人

※ 月平均 介護 $285 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 23.8 \text{ 人}$
 予防 $101 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 8.4 \text{ 人}$
 計 $386 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 32.2 \text{ 人}$

※ 居宅介護支援利用者は特養の入所で人数が変動する。

※ 1月より居宅利用者で長期ショート利用者9名特養入所にて居宅利用者減少した。

3. 活動状況

(1) 介護認定訪問調査（長崎市役所委託分）

月 別	人 数	月 別	人 数
H27. 4 月	4 人	10 月	1 人
5 月	1 人	11 月	4 人
6 月	2 人	12 月	1 人
7 月	0 人	H28. 1 月	2 人
8 月	2 人	2 月	1 人
9 月	1 人	3 月	1 人
合 計		20 人	

※ $20 \text{ 人} \div 12 \text{ ヶ月} = 1.7 \text{ 人 (月平均)}$

※ 長崎市より介護保険認定に係る訪問調査を、在宅・西海市内病院・施設等を訪問し実施する。

(2) 「介護教室」の開催

○6月13日（土）午後19時30より21時15分迄 水ノ浦公民館

西海町水ノ浦地区 30名参加

- ・「日本の高齢者福祉の流れ」「介護保険制度改正について」
- ・「認知症の理解と介護について」

○7月16日（水）午後13時30から15時迄 ふるさと研修室

西海町太田原郷わいわいサロン 14名参加

- ・「介護保険制度の流れ」「認知症の理解について」

○11月16日（月）午後19時00分から21時00分迄 川内公民館

西海町川内地区 42名参加

- ・「介護保険制度の流れ」「認知症の理解について」

○平成28年3月15日 午後19時00から20時30分 西彼教育センター

西彼町大串地区 30名参加

- ・「介護保険制度の流れ」「認知症の理解について」

(3) 法人介護支援専門員連絡会議

法人の各施設・居宅の介護支援専門員での情報交換・介護支援専門員としてのスキルアップを目的として、毎月会議を実施し利用者のより良い生活・地域住民の生活について、研修会を実施している。又、長崎県・西海市の介護支援専門員協議会へ入会し、各研修会等への参加も実施している。

平成27年度事業報告「グループホームふるさと」

1. 事業概況

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かしたレクリエーションや生活リハビリ、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

平成27年度前半は、要介護4～5で医療・身体介護の必要性が大きくなられたご利用者などの、状態に応じた生活の為に暮らし替えにかかる連携、新規入所者受入れにかかる連携をスムーズに進める事ができ、入院者も少なかった。しかし、後半に入りご利用者の転倒事故や体調不良による入院が続き、実稼働率が、10月（96.8%）から、翌年2月（89.5%）まで低下する状況となった。

運営委員会活動にも引き続き取り組んでおり、『介護の質』『安全の質』『暮らしの質』3つの委員会活動を進め、介護の質向上を目指した。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を、併設施設である“小規模多機能ホームふるさと”と合同で開催、26年度まで4回の開催だったが、27年度は、避難訓練や事業所行事（秋祭り）も兼ね合わせて6回開催し、運営推進会議委員である利用者様ご家族・行政・地域・福祉関係者の参加を得て、介護保険制度や活動状況、地域との交流活動など、更に幅広い意見交換ができた。

前年度から引き続いて人員不足が課題であったが、異動や新規雇用によって人員を補充できたことで、徐々に体制整備が可能となってきた。

2. 利用状況

項 目	27年度	26年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,588名	6,570名	—	
年間延べ利用者数	6,516名	6,503名	100.2%	↑
延べ入院・外泊日数	187日	174日	107.5%	↑
年間延べ実利用者数	6,329名	6,329名	100.0%	→
実稼働率	96.1%	96.3%	99.8%	↓
延べ未契約日数	72日	67日	107.5%	↑

3. 入退所状況

	種 別	人 数	備 考
H27 年 6 月	退 所	2 名	死亡のため
			特養転所のため
	入 所	1 名	自宅より
年 7 月	退 所	1 名	特養転所のため
	入 所	2 名	自宅より
年 8 月	退 所	1 名	特養転所のため
	入 所	1 名	病院より
年 9 月	退 所	1 名	特養転所のため
	入 所	1 名	自宅より
年 10 月	退 所	1 名	特養転所のため
	入 所	1 名	自宅より
年 11 月	退 所	2 名	長期入院のため
			自宅へ
	入 所	2 名	自宅より
H28 年 2 月	退 所	1 名	入院のため
年 3 月	入 所	1 名	老健より

○ 入所者総数：9 名

○ 退所者総数：9 名

4. 入所者状況（平成28年3月31日現在）

入居人数	18名（男性／1名 女性／17名）		
要介護区分（平均介護度：2.5）			
要支援2（0名）	要介護1（6名）	要介護2（3名）	
要介護3（4名）	要介護4（4名）	要介護5（1名）	
年 齢	平均 86.8歳	（最低／76歳）（最高／98歳）	

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて6回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	2名	地域包括支援センター職員	1名
	地域住民の代表	3名	西海市職員	1名
	西海市社協	1名		
施 設	理事長・管理者・統括管理者・小規模多機能ホーム管理者 小規模多機能ホームケアマネ			7人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月29日	小規模多機能 ホーム	13名	・ 新年度運営目標について ・ 運営推進会議について ・ 運営状況報告
第2回	7月31日	グループホーム ふるさと	11名	・ 各事業所避難訓練実施状況について ・ 運営状況報告
第3回	10月4日	グループホーム ふるさと	18名	・ 地元消防団との避難訓練及び意見交換
第4回	11月23日	グループホーム ふるさと	13名	・ 秋祭り参加
第5回	1月22日	小規模多機能 ホーム	13名	・ 『秋祭り』『もみじ祭り』実施報告 ・ 運営状況報告
第6回	3月28日	グループホーム ふるさと	15名	・ 外部評価結果報告 ・ 運営状況報告

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事			
・ 3 B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさと書道クラブ／地域住民へ会場開放（毎月2回） ・ 習字教室（毎月1～2回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回）			
主な月別行事（上記月例行事を除く）			
4月	・ ドライブ（バイオパーク） ・ 西海ハーモニーコーラス訪問（特養） ・ 崎戸伊達本舗へ外食 ・ 4月生まれお誕生会 ・ さくらまつり（シニアライフサポートセンター） ・ 焼き肉パーティー	5月	・ 雪浦ウィーク散策 ・ シニアライフサポートセンターとの交流茶話会 ・ 誕生日祝い押しずし作り ・ 母の日茶話会 ・ 5月生まれお誕生会 ・ 個別外出支援（買い物） ・ いきいき教室（シニアライフサポートセンター）
6月	・ 輪投げ大会（シニアライフサポートセンターと合同） ・ 法人輪投げ大会（特養） ・ 焼きそばパーティー ・ アンサンブル・ダンツィ大阪演奏訪問（特養） ・ いきいき教室（シニアライフサポートセンター） ・ あじさい鑑賞ドライブ ・ 饅頭づくり ・ 梅干しづくり	7月	・ 七夕飾りづくり ・ そうめん流し ・ ふるさと夏祭り ・ カラオケ大会 ・ ドライブ ・ いなり寿司づくり ・ 笑いヨガ（特養）
8月	・ こざくら学園夏祭り参加 ・ 盆参り ・ 8月生まれ誕生会（白寿祝い） ・ スイカ割り大会 ・ 脳トレ（シニアライフサポートセンター） ・ いきいき教室（シニアライフサポートセンター）	9月	・ ふるさと敬老会リハーサル ・ ふるさと敬老演芸会参加 ・ ドライブ（大島） ・ 観月会 ・ 紙芝居訪問（シニアライフサポートセンター） ・ 脳トレ（シニアライフサポートセンター）

10 月	・ 赤い羽根共同募金 ・ ドライブ&外食 (西海の丘公園・魚々の宿) ・ 石本歌劇団訪問 (サポ-トセンター) ・ コスモス見物ドライブ(七ツ釜) ・ 脳トレ (シニアライフサポ-トセンター) ・ いきいき教室 (シニアライフサポ-トセンター) ・ 焼きそばパーティー	11 月	・ お好み焼きパーティー ・ シニアライフサポ-トセンターもみじ祭り参加 ・ 第2GH秋祭り参加 ・ 10月・11月生まれ誕生会 ・ いきいき教室 (シニアライフサポ-トセンター) ・ 合同レクリエーション (シニアライフサポ-トセンター)
12 月	・ クリスマス忘年会 ・ 餅つき ・ 年賀状作成 ・ 門松づくり ・ たくあん漬け	1 月	・ 国旗掲揚 ・ 新年祝賀会 ・ 鬼火焚き ・ 1月生まれ誕生会
2 月	・ 節分豆まき会 (恵方巻き) ・ バレンタインデー ・ 2月生まれ誕生会 ・ すき焼きパーティー ・ 買物ドライブ	3 月	・ ひな祭り茶話会 ・ 3月生まれ誕生会 ・ お花見 ・ つわ採り、つわの皮むき

7. 会議・研修会開催状況

(1)	職員全体会議	11回
(2)	ユニット会議	8回×2ユニット
(3)	合同ユニット会議	4回
(4)	管理者会議	12回
(5)	介護の質委員会	12回
(6)	安全の質委員会	12回
(7)	暮らしの質委員会	12回
(8)	広報委員会	4回
(9)	介護・医療勉強会・復命会	11回
(10)	防災訓練	11回

8. 研修参加状況

【法人内研修】

・ 新任職員研修	1名
・ グループホーム計画作成担当者ケアプラン研修会	3名
・ 管理職・リーダー研修	2名
・ 笑いヨガインストラクター養成研修	2名

【外部研修】

・ 県社協初任者研修会	2名
・ 夜勤時のリスクマネジメント研修	1名
・ 身体拘束廃止推進委員研修	1名
・ ケアマネ受験対策講座	1名
・ 雇用管理者研修会	1名
・ 経営力改善事業事例発表会	1名
・ ケアマネ実務研修	1名
・ アンガーマネジメント研修会	1名
・ 新人指導研修会	2名
・ BCP策定・防災・減災研修会	1名
・ 老施協 平成27年度認知症研修会	2名
・ チームリーダー研修会	1名
・ 実務者研修	2名
・ 長崎県高齢者虐待防止シンポジウム	1名
・ 介護職員定着率向上研修会	2名
・ プロから教わる写真技術講習会	2名
・ 施設連絡協議会総会研修	2名
・ ストレスケア研修	2名
・ 地域づくりセミナー	5名

法人外研修会参加総数 19回 延べ31名（昨年度延べ参加者22名）

9. 平成27年度外部評価の受審

法令に則り外部評価及び情報公表調査を受審した。

- ・ 委託団体 (株)福祉サービス評価機構
- ・ 訪問調査日 平成28年2月10日
- ・ 外部評価ならびに自己評価結果

平成28年3月21日西海市長寿介護課受理にて確定。

ワムネット（福祉医療機構）のホームページにて閲覧可

(<http://www.wam.go.jp>)

平成27年度事業報告「第2グループホームふるさと」

1. 事業概要

家庭の延長としてのグループホームの機能・役割を認識し、趣味や生活歴を活かした生活支援や、家族や地域との交流などを取り入れた行事計画に沿って活動を展開した。

通年で退所7件、入所5件の異動があった。入退所件数は昨年度より1件増であったが、退所からの新規入所までの期間が平均13日と前年の24.1日と比べ大きく減少しており、スムーズな入退所、非契約日の減少に心がけた。

『介護の質』『安全管理』『暮らしの質』の3つの委員会活動を引き続き取り組み、介護の質向上を目指した。

地域密着型サービス事業者に義務づけられている「運営推進会議」を27年度は26年度の年4回より年6回と開催日数の増加を行った。運営目標、活動状況、外部評価報告、防災関係などの意見交換以外でも、地域消防団との避難訓練、秋まつりへの参加など幅広く委員との交流を行った。

地域との交流においては、地域行事へ積極的に参加し、前年から引き続き福祉推進員との交流、瀬川保育園との交流など地域との関わりに力点をおいた活動ができた。

年間を通して人材不足に悩まされた。年度始めに1名の退職があり、12月と2月に新規職員の採用を行ったが、その間の各職員の人材不足による肉体的、精神的な負担が見られている。また加配分の職員の確保が難しく、人材不足による影響が職員、事業運営へも及んでいる。

2. 利用状況

項 目	27年度	26年度	対前年比	
年間延べ満床者数	6,588名	6,570名	—	—
年間延べ利用者数	6,497名	6,425名	101.1%	↑
延べ入院・外泊日数	138日	173日	76.8%	↓
年間延べ実利用者数	6,359名	6,252名	101.7%	↑
実稼働率	96.5%	95.2%	101.4%	↑
延べ未契約日数	91日	145日	62.8%	↓

3. 入退所状況

月日	種別	人数	備 考
H 2 7 年 4 月	退所	1 名	法人内事業所へ
	入所	1 名	自宅より（ショート利用）
5 月	退所	1 名	入院の為
	入所	1 名	自宅より
7 月	退所	1 名	長期入院の為
8 月	入所	1 名	自宅より
9 月	退所	1 名	有料老人ホームへ
	入所	1 名	法人内事業所より
3 月	退所	3 名	法人内事業所へ（1 名）
			長期入院の為（2 名）
	入所	1 名	病院より

○ 入所者総数：7 名

○ 退所者総数：5 名

4. 入所者状況（平成 2 8 年 3 月 3 1 日現在）

入居人数	1 6 名（男性／ 4 名 女性／ 1 2 名）		
要介護区分（平均介護度： 2. 3）			
要支援 2（ 0 名）	要介護 1（ 4 名）	要介護 2（ 7 名）	
要介護 3（ 2 名）	要介護 4（ 2 名）	要介護 5（ 1 名）	
年 齢	平均 8 8. 4 歳	（最低／ 7 6 歳）（最高／ 9 7 歳）	

5. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて 6 回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1 名	地域包括支援センター職員	1 名
	地域住民の代表	3 名	西海市職員	1 名
	西海市社協職員	1 名		
施 設	理事長・統括管理者			2 人

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第1回	5月28日	第2グループホームふるさと	9名	・運営推進会議について ・運営目標について ・運営状況報告
第2回	7月30日	第2グループホームふるさと	9名	・避難訓練実施状況 ・運営状況報告
第3回	9月25日	第2グループホームふるさと	15名	・地元消防団との避難訓練 及び意見交換
第4回	11月26日	第2グループホームふるさと	9名	・秋まつりへの参加
第5回	1月21日	第2グループホームふるさと	9名	・福祉推進員との交流実施報告 ・秋まつり実施報告 ・運営状況報告
第6回	3月18日	グループホームふるさと(合同)	11名	・外部評価結果報告 ・運営状況報告 ・次年度運営推進会議について

6. 主な活動状況

年間を通した活動・行事
・ 3B体操（毎月2回） ・ 法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ ふるさとドライブ（随時） ・ 防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・ 誕生会

主な月別行事			
4月	・ ピクニック（横瀬浦公園） ・ 100歳のお祝い ・ 春の会食会 ・ さくら祭り（サポートセンター） ・ ハーモニー西海訪問（特養） ・ 手作り餃子会食 ・ 外出支援（美容室）	5月	・ 空飛ぶ鯉のぼり見学 ・ ちまき作り ・ 饅頭作り ・ 母の日茶話会 ・ いきいき教室（サポートセンター） ・ こどもの日茶話会 ・ たこ焼き会食
6月	・ ユニット対抗輪投げ大会 ・ 輪投げ大会（特養にて） ・ 父の日茶話会 ・ アンサンブルダンツィ大阪演奏会（特養） ・ おはぎ作り ・ あじさいドライブ ・ 外出支援（美容室） ・ いきいき教室（サポートセンター）	7月	・ 瀬川保育園との交流（七夕） ・ ふるさと夏祭り ・ 氷ソーメン会食 ・ ふるさとキッズ交流 ・ GH利用者との交流 ・ パフェ会食
8月	・ 瀬川保育園夏祭り ・ お墓参り ・ おはぎ作り ・ 笑いヨガ（特養） ・ いきいき教室（サポートセンター） ・ 脳トレ（サポートセンター）	9月	・ ふるさと敬老演芸会（特養にて） ・ お月見会 ・ 消防団との避難訓練 ・ 100歳のお祝い
10月	・ コスモス祭り（七釜鍾乳洞） ・ 太田和浮立見学 ・ 瀬川保育園運動会見学 ・ 赤い羽根共同募金 ・ ドライブ（大島） ・ 秋の味覚お弁当 ・ 買い物支援 ・ ふるさとキッズとの交流 ・ 石本歌劇団訪問（サポートセンター） ・ カラオケ（サポートセンター）	11月	・ 秋まつり ・ 秋まつり（グループホーム） ・ もみじ祭り（サポートセンター） ・ 消火訓練 ・ 瀬川保育園相撲大会見学 ・ 福祉推進員との交流 ・ ドライブ（大島・買い物） ・ 鍋会食
12月	・ もちつき ・ ケーキ作り ・ クリスマス忘年会誕生会 ・ みかんどームフェスティバル ・ 鍋会食	1月	・ 新年祝賀会 ・ 獅子舞訪問 ・ 鬼火焚き ・ 初詣 ・ たこ焼き作り ・ 鍋会食

2 月	・ 節分豆まき ・ バレンタインケーキ作り ・ バレンタインデー ・ 笑いヨガ	3 月	・ ひなまつり茶話会 ・ いちご大福作り ・ ホワイトデー茶話会 ・ お花見ドライブ ・ 畑作業
--------	--	--------	--

7. 会議・研修会開催状況

(1) 職員全体会議	1 1 回
(2) ユニット会議	1 2 回×2 ユニット
(3) 介護の質委員会	1 2 回
(4) 安全対策委員会	1 2 回
(5) 暮らしの・地域との交流委員会	1 2 回
(6) 管理者会議	1 2 回
(7) 広報委員会	4 回
(8) 介護・医療勉強会・復命会(法人合同含む)	1 7 回
(9) 防災訓練	1 3 回
(10) 地域ケア会議 (法人外)	2 回

8. 研修参加状況

【法人内研修】

・ 新任職員研修	1 名
・ 管理者・リーダー研修	2 名
・ 笑いヨガインストラクター研修	2 名
・ グループホーム計画作成担当者ケアプラン研修会	2 名

【外部研修】

・ 初任者研修会	1 名
・ 中堅職員研修会	1 名
・ 夜勤時のリスクマネジメント研修会	1 名
・ ケアマネ受験対策講座	
・ 西海市福祉施設連絡協議会総会及び研修会	2 名
・ 信頼関係を作るコミュニケーション研修会	1 名
・ BCP 策定・防災・減災研修会	1 名
・ 認知症介護実践者研修	1 名
・ 高次脳機能障害相談支援研修会	1 名
・ ストレスケア研修会	2 名

・認知症対応型サービス事業者管理者研修	2名
・プロから教わる写真教室研修会	2名
・新任職員の指導について研修会	2名
・消防一日研修会	1名
・長崎県高齢者虐待防止シンポジウム	2名
・これからの労務管理のあり方研修会	1名
・生活困窮者レスキュー事業研修会	1名
・第7回日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会	1名
・効果的・効率的な改善を促す 経営仕組み作りのポイント研修会	1名
・アンガーマネジメント研修会	3名

法人外研修会 21回 参加総数 延べ27名（26年度延べ参加者 24名）

9. 平成27年度外部評価の受審

法令に則り外部評価及び情報公表調査を受審した。

- ・委託団体 一般財団法人 福祉サービス評価機構
- ・訪問調査日 平成28年2月9日
- ・外部評価ならびに自己評価結果

平成28年3月23日西海市長寿介護課受理にて確定
ワムネット（福祉医療機構）のホームページにて閲覧可
(<http://www.wam.go.jp>)

平成 27 年度事業報告「ふるさとシニアライフサポートセンター」

1. 事業概況

資格を持った介護スタッフが、生活・介護などの相談・見守り・安否確認及び緊急時の対応などのサービスを提供するとともに、家庭的な雰囲気の中で、楽しく穏やかな生活環境を提供する事が出来た。

利用状況は小規模多機能型居宅介護が契約者 7 名、終了者が 10 名。サービス付きマンションが契約者 9 名、終了者 9 名（グループホーム入所 1 名、入院 7 名、他施設入所 1 名）。稼働率平均は、小規模多機能型居宅介護 66%（登録定員 25 名、平均 16.5 名）、サービス付きマンション 81%（居室 19 部屋、平均 15.4 室）となった。

小規模多機能型居宅介護の職員配置（1 日）は、通所 3 名、訪問 1 名、夜勤 1 名、夜間訪問待機 1 名。平均介護度は小規模多機能型居宅介護 1.2、サービス付きマンション 1.3。ご家族からも入居してからの状態が改善見られたとの意見が多く聞かれる。

『介護の質』『安全管理』『くらしの質』の 3 つの委員会活動を引き続き取り組み、介護の質向上を目指した。

小規模多機能型居宅介護事業者に義務付けられている「運営推進会議」は 26 年度より 2 回多い 6 回実施した。運営目標、活動状況、防災関係の意見交換以外に、今年から外部評価機関による外部評価の代わりに、年に 1 回、事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行う「サービス評価」が行われた。その他には地域消防団との合同訓練、もみじ祭り参加など、幅広く委員との交流を行った。

地域との交流においては今年から開催した「オープンホーム」等の新しい行事を通して、地域からの理解を深める事が出来、見学者も増加している。

2. 利用状況

【小規模多機能型居宅介護】

	今年度	前年度
契約者（延べ）	35 人	30 人
契約終了者	10 名	9 人

【サービス付き付きシニアマンション】

	今年度	前年度
契約者（延べ）	36 人	27 人
契約終了者	9 人	8 人

※備考

グループホーム入所 1 人、入院 7 人 （他施設入所 1 名）

3. 利用者状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

【小規模多機能型居宅介護】

利用者数	18 名	（男性／2 名	女性／16）
要介護区分	（平均介護度：1.2）		
要支援 1（2 名）	要支援 2（2 名）	要介護 1（11 名）	
要介護 2（1 名）	要介護 3（2 名）		
年 齢	平均 87.8 歳	（最低／76 歳）	（最高／102 歳）

【サービス付きシニアマンション】

入居者数	15 名	（男性／1 名	女性／14）
要介護区分	（平均介護度：1.3）		
要支援 1（0 名）	要支援 2（1 名）	要介護 1（11 名）	
要介護 2（1 名）	要介護 3（2 名）		
年 齢	平均 88.7 歳	（最低／78 歳）	（最高／102 歳）

4. 運営推進会議の開催状況

以下の構成員にて 6 回の運営推進会議を開催し、活発な意見交換を行った。

委 員	利用者家族	1 名	地域包括支援センター職員	1 名
	地域住民の代表	2 名	西海市職員	1 名
	西海市社協	1 名	地域密着型サービスに知見を有する物	1 名
事業所	・理事長・グループホーム統括管理者・グループホーム管理者 ・小規模多機能ホーム管理者・計画作成担当者・職員			6 名

○実施状況

回	月日	場所	参加人数	主な協議テーマ
第 1 回	5 月 29 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	13 名	・新年度目標について ・運営状況報告 ほか
第 2 回	7 月 31 日	グループホーム ふるさと	11 名	・避難訓練実施状況について ・運営状況報告 ほか
第 3 回	10 月 13 日	グループホーム ふるさと	18 名	・避難訓練概要説明、実施 ・意見交換
第 4 回	11 月 17 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	86 名	・もみじ祭り 「オープンホーム」
第 5 回	平成 28 年 1 月 22 日	ふるさとシニアライフ サポートセンター	12 名	・「秋祭り」「もみじ祭り」 実施報告 ・運営状況報告

				・小規模多機能ホームふるさと外部評価について
第6回	3月11日	ふるさとドライブ サポートセンター	11名	・平成27年度小規模多機能ホームふるさと「サービス評価」について ・運営状況報告 ほか

5. 主な活動状況

年間を通した活動・行事

・法話拝聴（特養にて毎月1回） ・ふるさとドライブ（随時） ・防災訓練（避難訓練・夜間出動訓練）（毎月1回） ・買い物支援（個人支援） ・脳トレーニング（毎月1回） ・イキイキ体操（笑いヨガ）（毎月1回） ・誕生会（誕生者当日に実施） ・特養誕生会参加（随時） ・利用者懇談会（毎月1回）
--

主な月別行事（上記月例行事を除く）

4月	・さくら祭り ・手作りお菓子作り ・おはな祭り（フキ寿司作り） ・にがうり苗植え	5月	・ちまき作り ・たい焼きドライブ ・梅干し作り ・カラオケ（歌姫）ドライブ ・おやつ作り（ホットケーキ） ・図書館ドライブ ・ガーデンランチ
6月	・作り上がりまつり （たけのこ寿司づくり） ・手作りお菓子作り（フルーツ餃子） ・グループホーム合同輪投げ大会 ・法人全体輪投げ大会 ・アンサンブル・ダンツィー 大阪 慰問演奏会	7月	・饅頭・角煮饅頭作り ・舞踊慰問 ・法人夏祭り
8月	・かき氷パーティー ・饅頭作り ・カラオケ（歌姫）ドライブ	9月	・カラオケ業者インストラクターによる体操 ・敬老会 ・ぜんざい会 ・観月会
10月	・饅頭作り ・プチニック（四本堂公園） ・石本歌謡団訪問 ・芋ほり・草刈り	11月	・うどんパーティー ・もみじ祭り ・第2GH 森の中の秋祭り参加 ・つるし柿作り

12月	・ GH 冬祭り参加 ・ 寿司パーティ ・ 餅つき・そば打ち ・ クリスマスビンゴ大会 ・ 鍋食べよう会	1月	・ 新年祝賀会 ・ 初詣 ・ 鬼火焼き ・ かるた、トランプ、ぜんざい会
2月	・ 節分豆まき ・ いなり寿司作り	3月	・ ひな祭り ・ ホワイトデークッキー作り ・ ふるさとキッズ卒園式 ・ さくら祭り

6. 会議・研修会開催状況

①職員全体会議	(12回)
②介護の質委員会	(4回)
③安全対策委員会	(4回)
④暮らしの質委員会	(4回)
⑤広報委員会	(4回)
⑥介護・医療勉強会・復命会	(12回)
⑦防災訓練	(12回)
⑧事業所連絡会議	(12回)
⑨ケアマネ会議	

7. 研修参加状況

・ 初任者研修	1名
・ 「笑いヨガ」研修	15名
・ 管理者、リーダー研修 ①～④	3名×4回(1回1名欠席) = 11名
・ 小規模多機能研修	3名
・ 防火、防災安全講習会	1名
・ 食中毒予防と対策	3名
・ 講演「選ばれる事業所になるためには」	1名
・ 防火管理者講習	1名
・ 給食施設栄養、衛生管理講演会	1名
・ BCP 策定、防災、減災研修会	1名
・ 認知症ケア研修	9名
・ ストレスケア研修	2名
・ プロから教わる写真教室	1名
・ 認知症対応型サービス事業管理者研修	1名
・ 小規模多機能型サービス計画作成者研修	1名
・ 講演「新任職員の指導について」	1名
・ 長崎県高齢者虐待防止シンポジウム	1名
・ これからの労務管理のあり方	1名
・ 九州ブロックカントリーミーティング	1名
・ 平成 27 年居宅介護支援事業所、サービス提供事業所との意見交換会	1名
・ ケアマネ九州、沖縄ブロック研究大会	1名
・ アンガーマネジメント	1名

※研修会参加総数 22回 述べ 59名参加

8.平成 27 年度サービス評価

平成 27 年度の制度改正により、小規模多機能型居宅介護事業所においては、従来の外部評価機関による外部評価の代わりに、年に 1 回、各事業所が自ら提供するサービスについて評価・点検を行い、その評価結果について、地域の有識者の皆さんが構成員である運営推進会議において第三者の観点からサービスの評価を行う事が義務付けられました。

・サービス評価結果

平成 27 年 3 月 13 日西海市長寿介護課受理にて確定。

小規模多機能ホームふるさとのホームページにて閲覧可

(<http://furusato-saikai.jp/syokibo.html>)

以上

平成27年度事業報告「ふるさとキッズ」

1. 利用状況

○登録園児数

4月～2名（男子1名・女子1名） 8月26日～3名（男子2名・女子1名）

10月12日～2名（男子1名・女子1名）（平成28年3月31日現在）

・0～2歳児／男子1名・女子1名（全員職員子息子女）

[単位：述人数]

月	託児数	職員	月	託児数	職員
4	26	34	10	46	46
5	27	36	11	44	43
6	34	38	12	37	39
7	47	39	1	31	33
8	43	35	2	44	45
9	65	52	3	48	32
計				492	472

2. 主な活動状況

年月	活動内容	年月	活動内容
H27.4	・花まつり（実相寺まで） ・サポートセンター食事会に参加 ・グループホーム訪問 ・4月製作（チューリップ・ちょうちょ） ・お散歩 ・新聞紙遊び ・ままごと ・お絵描き ・シール貼り遊び ・粘土遊び ・輪投げ ・ハサミのおけいこ ・シャボン玉遊び ・スタンプ遊び ・テレビ観賞	H27.5	・5月製作（こいのぼり） ・お母さんの似顔絵プレゼント ・サポートセンター利用者とドライブ ・ミニトマト苗植え ・サポートセンター手作りおやつの参加 ・サポートセンター輪投げボーリング ・DVD撮影に参加 ・特養訪問 ・ままごと ・絵本 ・磁石で遊ぶ ・お散歩 ・どんぐり遊び ・風船遊び ・テレビ観賞 ・シャボン玉遊び ・水 ・砂遊び ・手遊び ・運動遊び ・ボール遊び
H27.6	・サポートセンターリハビリ体操参加 ・6月製作（あじさい・かたつむり） ・製作（ハブラシ・コップ）	H27.7	・てるてるぼうず製作 ・特養訪問 ・サポートセンター誕生会参加

H27. 6	・時計製作 ・傘の形絵シール貼り ・お父さん似顔絵プレゼント ・特養（輪投げ大会に参加） ・ビーチボール遊び ・動物かるた ・お散歩 ・絵本 ・お買い物ごっこ遊び ・ボーリング ・スタンプ遊び ・野球遊び	H27. 7 ・サポートセンター七夕まつり参加 ・サポートセンターリハビリ体操参加 ・第2グループホーム交流会 ・水鉄砲、スプレー遊び ・ハサミのおけいこ ・紙芝居 ・お絵描き ・輪っかひも通し遊び ・お医者さんごっこ ・7月製作（かき氷・スイカ） ・室内プール遊び ・小麦粉粘土遊び ・色水遊び ・紙染める ・壁紙製作（スイカ） ・夏祭り参加
H27. 8	・プール遊び ・水鉄砲 ・水遊び ・8月製作（花火） ・グループホーム訪問 ・サポートセンター誕生会参加 ・特養訪問 ・落ちた落ちたゲーム ・ハンマーパンチゲーム ・数のおけいこ ・お散歩 ・ヨーヨー作り ・ボール作り製作 ・線にかく練習 ・シャボン玉遊び ・お店屋さんごっこ ・お絵描き ・キーボード ・敬老会踊りの練習	H27. 9 ・9月製作（コスモス） ・パッチン製作（牛乳パック使用） ・水鉄砲 ・水遊び ・シャボン玉遊び ・お散歩 ・ままごと遊び ・サポートセンター焼肉会参加 ・特養訪問敬老会舞台練習 ・サポートセンターぜんざい会参加 ・指スタンプ、丸スタンプ、手形スタンプ遊び ・プレ敬老会参加 ・魚釣りごっこ遊び ・プレゼント作り ・敬老会発表会参加 ・風船遊び ・お絵描き ・折り紙
H27. 10	・サポートセンターまんじゅう作り参加 ・サポートセンタードライブ（四本堂公園） ・10月製作（どんぐり・きのこ） ・どんぐり拾い ・お散歩 ・折り紙 ・ハサミのおけいこ ・輪っなぎ	H27. 11 ・サポートセンター芋掘り大会に参加 ・特養訪問 ・チューリップ球根植え ・11月製作（きつね、落葉） ・サポートセンター焼うどんパーティーに参加 ・サポートセンターもみじ祭り参加 ・グループホーム秋祭り参加

H27. 10	・粘土遊び ・体操 ・絵本 ・絵具手形 ・影ふみ遊び ・サポートセンター悠君お別れ会参加 ・特養訪問（ハロウィンの衣装で訪問）	H27. 11	・運動遊び（線上を歩く、バック、横歩き等） ・絵本、セリフを言って遊ぶ ・お散歩 ・シャボン玉遊び ・折り紙 ・ぬり絵 ・シール貼り ・手遊び ・病院ごっこ ・テレビ観賞 ・クリスマス壁面作り
H27. 12	・サポートセンター握り寿司パーティー参加 ・サポートセンター鍋食べよう会参加 ・粘土遊び ・サンタバルーンで遊ぶ ・線描くおけいこ（定規あて） ・シール貼り ・ボール遊び ・すべり台 ・ハサミのおけいこ ・サポートセンタークリスマス会に参加 ・12月の製作 （クリスマスツリー、サンタクロース）	H28. 1	・特養訪問 祝賀会に参加 ・今年の干支おさるさんの顔描き ・サポートセンター鬼火たきに参加 ・かるた遊び ・どんぐりコマ作り ・サポートセンター誕生会に参加 ・1月製作（サル、凧、コマ、風船） ・はご板 ・鬼の面製作 ・節分豆入れ製作 ・雪だるま作り ・お散歩
H28. 2	・2月製作（鬼とおかめ） ・節分豆まき楽しむ ・特養訪問 ・グループホーム訪問（金魚餌やり） ・運動遊び（スキップ、横歩き） ・指遊び ・ダンボール空き箱を使って遊ぶ ・三輪車に乗ってお散歩 ・ひな人形製作（アンパンマン、メロンパン） ・お絵描き ・シール貼り ・風船遊び ・かたはめ玩具で楽しむ	H28. 3	・サポートセンターひな祭り茶話会参加 ・3月製作（似顔絵、手形） ・理事長さん、利用者さんへプレゼント作り ・かるた遊び ・運動遊び ・お散歩 ・お絵描き ・粘土遊び ・風船遊び ・手遊び ・絵本 ・ごっこ遊び ・ぬり絵 ・線を描く練習 ・鬼ごっこ ・キッズ卒園式に参加 ・サポートセンター桜まつり参加

